

招集期日 平成23年9月14日(水曜日)

招集場所 入間市庁舎5階第1委員会室

開 会 9月14日(水曜日)午後 3時10分

閉 会 9月14日(水曜日)午後 3時46分

出席委員	委員長	金子俊雄	副委員長	小島清人
	委員	石田芳夫	委員	安道佳子
	委員	山本秀和	委員	向口文恵
	委員	堤利夫	委員	齋藤國男
	委員	駒井勲		

欠席委員 な し

説明のため出席した職員	企画部長	企画部次長
	企画課長	関係職員

委員会に出席した事務局職員 玉井栄治 沼井俊明

△ 開会及び開議の宣告（午後 3時10分）

委員長 ただいまの出席委員は9名であります。定足数に達しておりますので、これより基地対策特別委員会を開会をいたします。

直ちに本日の会議を開きます。

△ 議事

委員長 これより議事に入ります。

それでは、お手元にご配付をいたしました協議事項によりまして議事を進めさせていただきたいと思えます。

1といたしまして、基地問題における現況報告についてを議題といたします。前回の委員会では、PAC3の状況、PCBの保管状況、自衛隊病院の動き、また狭山市の基地対策事業について、執行部から報告を受けることになっておりましたので、執行部より説明をお願いいたします。

企画課長 それでは、PAC3の状況、PCBの保管状況、自衛隊病院の動き、また狭山市の基地対策の事業について報告をさせていただきます。順番ちょっと異なりますが、まず初めに東町側の留保地内の自衛隊病院の動きについて、まず報告をさせていただきたいと思えます。結論から申し上げますと、現在のところ具体的な動きはありません。埼玉県保健医療部医療整備課に問い合わせをいたしましたところ、現在のところ、防衛省から自衛隊病院に関する話はなく、具体的な進展はないというところがございます。市といたしましても、自衛隊からの情報は現在のところございませんといった状況でございます。

引き続きまして、ほかの3点につきまして、お手元の資料で藤田副主幹のほうから報告をさせていただきます。

企画課副主幹 企画課の藤田と申します。よろしくお願ひいたします。

それでは、資料3番のパトリオットミサイルの配備状況ということで、自衛隊等に展開訓練等を行っているかという問い合わせをしたのですが、このところ行っていない様子だということがございます。直接的な答えではないのですが、このような答えをいただきました。

それと、埼玉県の基地対策協議会を通じまして防衛省及び北関東防衛局に対しまして、基地対策に関する要望としまして、下記のとおりPAC3に関する要望活動を7月26日に市長が直接行ったところがございます。平成19年3月に航空自衛隊入間基地に配備されましたPAC3は、移動展開時及び訓練時に事前に関係自治体に対する情報提供を徹底するとともに、周辺住民に不安を与えないように特段の配慮を行うことというような要望を行っております。

PAC3については以上でございます。

続きまして、資料4、航空自衛隊入間基地内に保管されているPCBについてご説明いたします。PCBなのですが、ポリ塩化ビフェニルという物質でございます。これがどうして入間基地に保管されるようになったかというてんまつを簡単にご紹介しますと、1968年にカネミ油症事件というものが社会問題化されまして、それからPCBの輸入も製造も行ってはいけないという事実上の禁止に国内になったという経緯がございます。その中で、事業者は自己管理をしていたというところがございますが、2000年あたりに厚生省が保管のPCBについて公表したところ、紛失しているPCBが多くなっているということが社会問題化されまして、PCBに関する特別措置法というものが制定されましたということでございます。

それで、入間基地内に保管されているPCBに関してなのですが、旧ジョンソン飛行場跡地分とキャンプ朝霞跡地分、こちらのものが入間基地内の保管庫の中に格納されているということでございます。このPCB法に基づいた建物を建てまして、平成16年に資料裏面の地図の位置に移しかえたということでございます。ちょうど位置的にいきますと、西武池袋線を乗りますと、ちょうど留保地の森が切れたところに写真のような建物が建っていると思います。私も電車に乗りながら、これ確認できておりますので、議員さんをご確認できるのではないかなと思うのですが、この位置にこういう建物が建っております。この中にPCBが保管されているということでございます。現在の管理状況なのですが、PCBの管理は財務省、関東財務局が行っています。敷地外の管理については、航空自衛隊が行っているということでございます。

それと、保管している量でございますが、トランス等146基、これはジョンソン基地分です。ドラム缶、廃絶縁油用ということで131本、廃棄物用として3本、これは作業に当たった汚れた、例えば軍手とか布とか、そういうものがその廃棄物用の中に入っているということでございます。

それと、あとキャンプ朝霞跡地用ののが163基、ドラム缶が127本でございます。全部で廃絶縁油用としては、ドラム缶にして258本分で、約46.4キロリットルということでございます。

〔(幾つですか、もう一度) と言う人あり〕

企画課副主幹 約46.4キロリットル。これリッターに直しますと4万6,440リットルでございます。

建物、保管庫については、平成16年に建てられたものなので、強固な施設だということで、それとあとPCB法と消防法に適合するよう避雷針とか換気ダクトが配置してあると。それと、あと保安用フェンスが設置してありまして、警報器も設置してあると。火災等がないよう巡回をしているのですが、保管庫の管理は財務省が行い、日常的な巡回は自衛隊のほうが行っているということでございます。

それと、これの処理についてなのですが、PCBの特別措置法によりまして、平成27年まで、3月までに埼玉県を含む1都3県に保管されているPCBを順次処理していくと。高濃

度のものから処理していくということでございますので、これは入間基地を通して関東財務局に聞いたところ、まだ処理の順番が来ていないという報告を聞いております。

保管の期限まで江東区青海に設置されている処理施設で処理されるまで、こちらの保管庫内に保管しているという状況でございます。

P C Bについては、以上でございます。

続いて、狭山市の基地対策、資料5をごらんください。狭山市の基地対策でございます。狭山市基地対策には、狭山市基地対策協議会というものがございます。それと、入間市の基地対策特別委員会と同じ狭山市の基地対策特別委員会、2つございます。狭山市の基地対策協議会はどんなことをしているのかというふうに狭山市の基地対策課に問い合わせたところ、こちらに書いてある1番から4番のことを行っているということでございます。

そして、構成メンバーについてですが、部会が3つに分かれているということでございまして、安全対策一般部会というのが11人、内訳からいたしますと、市議会から1名、自治会関係者2名、教育関係者1名等々、こういうふうな構成になっているということでございます。次に、環境対策部会11名、こちらの構成人数も資料のとおりでございます。それと、周辺整備部会11名、こちらも構成メンバーについてはごらんのとおりでございます。平成23年度の活動状況なのですが、6月に総会を行いまして、これから各部会の会議が実施されるということでございます。

そして、狭山市の基地対策特別委員会でございますが、議会選出から8名の人数で構成されているということでございます。主に行政視察等要望活動を行っているということです。平成22年の実績でご説明いたしますと、平成22年11月9日から10日に行った視察では、陸上自衛隊の広報センター、茨城県小美玉市、翌日には茨城県行方市について基地対策、デジタル防災行政無線の視察を行ったという報告を受けております。

以上でご説明を終わります。

委員長 今4点ですか、説明をいただいたわけですが、1点ずつやりましょうか。どうでしょうか。よろしいですか、1点ずつ質疑やったら。

まず、ただいま説明がありましたのですが、質疑が行ったり来たりしないように、質問ですか、1点ずつしていきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 それでは、まず説明の状況で、病院関係が1番ということですので、その病院関係の関係で質疑をお願いします。

石田委員 自衛隊には直接聞いていないのですか。

企画課長 先ほども最後のほうで触れさせていただきましたけれども、自衛隊のほうにも問い合わせをさせていただきます。自衛隊からの情報も今のところございません。

石田委員 たしかこれは、自衛隊内部でもそれぞれ協議されて、方針が決定されて、その後で一部予算化と、どういう予算か、事務予算なのかわからないのですが、そういった動きも一切ないと、予算的なものも、というふうに解釈していいですか。

企画課長 自衛隊のほうのちょっと予算のほうの確認をしてございませんけれども、病院の集約化というところは、方向性は変わっていないというような確認はとってございます。

委員長 よろしいですか。ほかにございますか。ありませんか。

〔(なし) と言う人あり〕

委員長 なしですか。

私のほうから1点いいですか。現在動きがないということなのですが、集約化は変わっていないということで、今後はどんな見方をうち側ではしていますか。

企画課長 今後につきましては、やはり情報収集を行いまして、その動きがあった時点で、報告をいただいた時点で、東町側の利用ということになりますので、国の動きを情報収集を行って、市といたしましても、それに関して協議を行っていきたいというふうに考えております。

委員長 ほかにありますか。ないね。

〔(なし) と言う人あり〕

委員長 ないようですので、病院の関係はまだ現状と変わっていないということですので、ご理解をお願いします。

続きまして、PAC3の関係で質疑をいただきたいと思います。

安道委員 この説明書きですと、平成23年7月26日にこのPAC3に関する要望活動というふうなことで、市のほうから自衛隊側に事前にきちんと情報提供するようにと、それから周辺住民に不安を与えるようなことがないようにということで申し入れたというふうなことですけれども、向こうからはこういった回答があったのでしょうか。

企画課副主幹 埼玉県基地対策協議会ということで、埼玉県を初め川越市、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、朝霞市、和光市、新座市等々、13の市がかかわったものでございます。それで、これは毎年要望活動を行っております。

国からの回答なのですが、特段ここについては、これはかなり多い要望活動の一つなので、その場では触れられなかったというのは結果でございます。

以上でございます。

安道委員 そうしますと、これは協議会として幾つかの中の一つとして出したというふうなことなのですね、そうしますと。入間市として単独で基地の側に市長名で出すというふうなことは行っているのですか。

企画課副主幹 入間市として、単独としては要望活動は行っておりません。

以上でございます。

安道委員 今後ですけれども、例えば入間市と狭山市とで連携して、基地側に添えて申し入れるとか、そういったことも考えられるかと思えますけれども、そういったことについては、何か狭山市側と協議するとか、そういったことはないのか、今後する予定があるのか。

企画課長 今後狭山市と調整を図っていきたいと思います。

委員長 よろしいですか。

安道委員 お願いします。

委員長 ほかにありますか。

石田委員 これ資料あるのだけれども、何でこれを出したのだろう。というのは、上がペトリオットと書いてあるではない。これは、文章のところを見ると、日本では昭和60年度から整備に着手し、平成6年度中に配備を完了しました。でも、これは古いやつですよ。上のペトリオットでしょう、これは。下はPAC3の話が入っているのだけれども、これ違うものだよ。

企画課副主幹 PAC3、初期型のものがホームページに掲載されておりましたので、パトリオットミサイルの派生型のPAC3ということで、最新型のが今私どもがご紹介したのですが、ここに載っている記事は確かに議員さんおっしゃるように古い記事が載っているということでございます。それで、PAC3の記事がホームページに載っていなかったの、これを引用させていただいたというのが結果でございます。

以上でございます。

石田委員 ですから、この古い、昭和60年から着手して配備していたものだから、その主要スペックと書いてあるではない、下に。全長から、直径からさ、射程距離から、これも当然違ってくるわけでしょう、スピードも今のやつは。はるかにこれより性能がいいのが出てくるのではないの。

企画課副主幹 現在のものなのですが、現在のPAC3のデータを見ますと、命中率が高まっています、射程については以前と同じ20キロか30キロというようなことで、その射程の範囲の中の性能はそんなに特段上がっていないということでございます。この間にPAC2という形がありまして、それから湾岸戦争が始まりましてPAC3に派生したということでございます。ですので、ちょっとご指摘のとおり、これは自衛隊のホームページに載っていたもので、古いものを載せてしまったということでございますので、ちょっと誤解をされてしまったのであれば、大変申しわけない話になるかと思えますので、よろしく願いいたします。

石田委員 いずれにしろ、ちょっと詳しく調べれば、その自衛隊の資料の中でも、それはPAC3の資料も入っているし、前にこれが配備されたとき、議会でもって視察行きました。あれのときのPAC3なのです。これは、古いのが載っているの、誤解するとまずいので。

ちよっとういようなものなのだとということで、ちよっと聞いておきたいのですけれども、射程が百数十キロと書いてあるのです。角度によって違うのかもしれないのですけ

れども、これは百数十キロ飛んだ場合に、もし目標とするものに当たらないで行った場合、これはどういう形、爆発するのですか、それとも落ちてしまうの。

企画課副主幹 大変申しわけございません。それに関しては、大変専門的な知識になりますので、ちょっとわかりかねる部分でございます。

以上でございます。

石田委員 もしできたら、これちょっと心配なので、飛んで、発射されたものが最終的に当たらない場合には爆発してくれるのだったらまだいいけれども、爆発しないで、その先行って落ちてしまったら大変なことになるので、ちょっと確認しておいていただけますか。

企画課副主幹 はい。

石田委員 いいです。後で、では。

齋藤委員 今のこの資料3の中の四角い枠に組まれているのですけれども、一番下のほうに、周辺住民に不安を与えないよう特段の配慮を行うこととなっているのですが、周辺住民に不安を与えないというのは、どういうことを意味していますか。

企画課副主幹 P A C 3 の、これは写真に載っているのが発射装置だけなのですが、P A C 3 はレーダー装置、射撃管制装置、情報調整装置、無線装置、アンテナマスト、発射機、発射機は、写真のとおりなのですが、以上からして、車が、大型トラック10台まではいかないのですが、7台から10台ぐらいの間で部隊が構成されていますので、こういうトラックが車列をなして展開するとき、かなり脅威を感じるだろうということで、周辺住民に不安を与えないように、訓練で行っているのであれば、訓練だというふうなことを地元の自治体に話しておいていただきたいということでございます。

以上でございます。

齋藤委員 そうしますと、これは絶えず入間基地に配備されているというよりかは、どこかほかの場所から持ってくるのですか、これ絶えず。

企画課副主幹 このP A C 3 の本来の目的は首都防衛でございますので、入間基地が、ちょっと言葉おかしいかもしれませんが、その車庫というのでしょうか、基地が拠点になっているところなので、この間の北朝鮮のミサイル発射のときも、ここから首相官邸近くまで配備に行ったという経緯でございます。

以上でございます。

齋藤委員 そうしますと、ここから、入間基地から首相官邸なんてかなりの時間、かなりの広範囲に、周辺住民どころではなくて、夜中か何かやるのですか。

企画課副主幹 過去の展開訓練を見ますと、昼間は余りやっていなくて、夜に出て行って、何日かたって朝方に帰ってくるというような記録は残っております。

以上でございます。

委員長 いいですか。ほかにありますか。

堤委員 では、関連して、その訓練というのは実物を運ぶわけですか。その車列だけが動くのですか。

企画課副主幹 その中身のミサイルが装てんされているかというのは、ちょっと私どもでわかりかねるのですが、当然過去の記録を見ますと、その車列が出ていっているという記録は残っております。

以上でございます。

堤委員 それは、実物が動くのがどうかというのは、これはちょっと確認、情報として出すのかどうかわかりませんが、訓練だから、実際に物を運ぶなんていうことはちょっと考えにくいだけでも、その辺の確認ができるのかどうか。

それから、私の知識では、まず迎撃の、最終段階ということで、まずミサイルが飛んできた場合には、海上の艦船から迎撃をするというような、それに漏れたやつがPAC3で最終的に迎撃をするというふうに聞いているのですけれども、そういう限定的な使い方ですね。

企画課副主幹 この防衛白書の中から見ますと、最初に堤議員さんおっしゃるように、イージス艦からのMS3と、スタンダードミサイルというものでまず迎撃を試みるということでございます。それが外れまして、最後着弾近くになって、このPAC3が迎撃に当たるというようなことが書いてございます。

以上でございます。

安道委員 そうしますと、これまで何回かそういうふうに入間基地から動いていったというふうなことが数回あったわけですね、配備というふうな形で。そのときには、事前に市のほうにはお知らせはあったのでしょうか。

企画課副主幹 基本的に基地対策班のほうから事前のお話はあったということは聞いてはいるのですが、口頭でのお話でございますので、実際にその部隊が出ていったかというのは、ちょっと確認はしておりません。

以上でございます。

石田委員 PAC3の訓練というのは、実際積んでやっていると思った、朝霞だとか、ああいうところへ行って全部。それやらないと意味ないわけでしょう。それで、レーダーとか全部機能して、スムーズに動くかどうかを訓練でやるわけだから、それのはずと、あと今出た自衛隊からとかの連絡は、今まで文書的なものほとんど来ないのですよね。全部口頭で来るから、よくそれ注意していて、ちゃんと書き取っておかないと、後で中身がわからなくなってしまう可能性があるので、慎重にお願いしたいと思います。

委員長 よろしいですか。

私のほうからなのですが、資料ですので、余りかけ離れた資料出さないで、真の資料出し

てもらおうようにひとつご協力願いたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

それでは、P A C 3 の関係ではないようですので、次のP C Bということで説明をいただきましたが、これについて皆さんから何かございますか。

安道委員 先ほどの説明ですと、そうしますと平成27年までには、この1都3県のものは完全に処理されるというふうなことでいいわけですね。

企画課副主幹 現在の計画ですと、そのように認識しております。

以上でございます。

安道委員 そうすると、見通しとしては入間のものはいつぐらいまでに処理できますというふうなことでは何か来ているのでしょうか、お知らせは。

企画課副主幹 入間市に直接、関東財務局のほうからは連絡はなく、先ほどの情報は入間基地を通じての情報でございます。ですので、基本的に入間基地に保管されているものは、低濃度でありますので、まだ順番が来ていないので、見通しが立っていないというのが基本的な答えということでございます。

安道委員 そうしますと、この1都3県で、この処理状況というものは、どんなふうになっているのかというのはつかめているのですか。

企画課副主幹 そこは調べておりませんので、ちょっとわからないというところでございます。

安道委員 そうしますと、27年というめどはあるけれども、これはどうなるかわからないという話なのですか、それとも27年にはきちんと完了しますというふうに思っていて大丈夫ということですか。

企画課長 法律からいきますと、27年3月ということなので、現時点でここまでに処理をされるというふうに考えておりますけれども。

委員長 駒井議員、何かありますか。

駒井委員 ないです。

委員長 山本議員、何かありますか。

山本委員 ないです。

石田委員 このP C Bで、財務省でジョンソン飛行場（東町側留保地内）、これがそうだと思うのですが、これがそうだと思うのですが、現在留保地になっているところありますね、27ヘクタールですか。あの中にもP C Bは残っていないというふうに考えていいのですか、今までこの処理した中に。

企画課副主幹 平成16年当時の記録を見ますと、すべてこの保管庫に移設したということでございます。

以上でございます。

委員長 ほかにないですか。

〔(なし) と言う人あり〕

委員長 ないようですので、基地問題における現況報告については終了をいたします。

次に、その他でございますが、何かございますか。

齋藤委員 これあくまでもあれですか、例えば基地司令が変わったら、基地司令が今変わったかどうか分かりませんが、前から同じかどうか分かりませんが、自衛隊のほうの主導でやるのか、財務省のほうの主導でやるのか、この基地跡地ということに関しては、どちらなのですか。

〔(留保地のことですか) という人あり〕

齋藤委員 留保地の。

企画課長 今土地を所有しておりますのが財務省ということでございますので、財務省の主導という形です。

齋藤委員 そうしますと、また財務大臣が変わりましたよね。そうすると、今までの我々がそういう会長を初め要望書みたいの出しましたね。ああいうのはもう一回出し直しとか、そういう引き継ぎやるのですか。その辺まではわからないですか。

企画課長 大臣が変わると、出している先は大臣名でも出してございますけれども、組織で動いてございますので、その辺の心配がないと思います。

委員長 ほかにありますか、その他で。

〔(なし) という人あり〕

委員長 ないようですので、それでは次回の委員会では、今後の検討課題となっております入間市駅側留保地、自衛隊病院を含めた東町側留保地、騒音問題について協議を進めたいと思います。

次回の日程についてご協議を願います。大体事務局ではいつごろか。

事務局主幹 12月定例会中というのはどうでしょうか。

委員長 途中でやったほうがいいよね。

〔(決算終わった後でもさ、11月中にでも1回) という人あり〕

事務局主幹 そうしますと、今そういったご要望もありましたので、ちょっと日程調整させていただいて、正副委員長ご一任を取りつけていただければと思いますが。

委員長 開催の要望みたいなのは、皆さんの中にありますか。余り12月まで延びすぎ……

石田委員 11月前半ぐらいまでに、11月前半ぐらい。

委員長 11月前半ですか。

堤委員 決算いつまで。

委員長 決算は10月……

小島委員 11月だと、1日が8回目ですから……

委員長 11月本当の終わりになってしまうのだ。

石田委員 その次の週あたり。

小島委員 次の週は、それと8日の日が議会改革がありますから、もうこれは午前中ですから。

石田委員 いいです。その辺でお任せして、やってもらってね。

委員長 次回の日程は、今事務局からは12月の議会中ということがあったのですが、皆さんの中から離れ過ぎではないのというお話をいただきましたので、11月の初めといたしますか、そちら、初旬を予定をして、その予定の日は正副委員長にお任せいただいてよろしいですか。

〔(はい) と言う人あり〕

委員長 では、そんなぐあいでもひとつよろしくをお願いします。

今まで入間市駅の跡地、この間も一般質問でもありますし、議題出ましたし、きょうの市長の答弁、向口さんの答弁にも、ちょっとこういう答弁をいただいたのです。馬頭坂線につながる道路ができるわけですからという答弁をいただいたのです。ですから、そういうことは、もう執行部でもある程度煮詰まっているのかなという感じも私なりには受けたのですが、その辺も含めたものになってくるのかなという感じを持っていますので、ひとつ執行部もふんどし締めてやってもらって、よろしくお願ひしたいと思ひますので。それでは、次回の日程は、正副委員長にお任せを願ひたいと思ひます。

△ 閉会の宣告（午後 3時46分）

委員長 それでは、これをもちまして基地対策の特別委員会を閉会をいたしたいと思ひます。
本日はご苦勞さまでした。

△ 署名

以上審査の次第は、正確なることを証するため、ここに署名する。

基地対策特別委員会委員長 金子俊雄